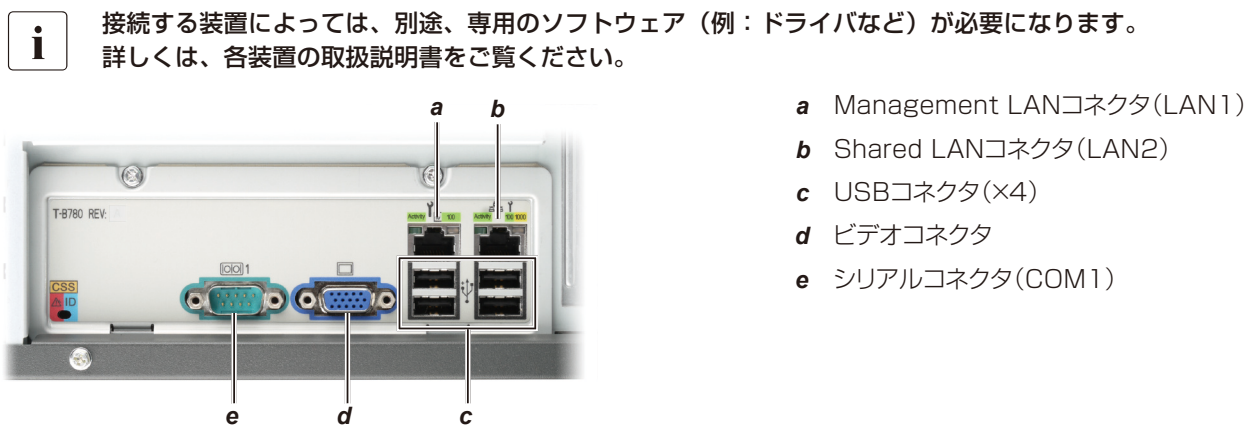






## 外部装置用のコネクタ

外部装置用のコネクタは、サーバ本体の背面にあります。オプション品やインストールされている拡張カードによっては、他のコネクタもついています。標準コネクタは記号で示され、色で分類されているものもあります。



## 各部名称とランプ

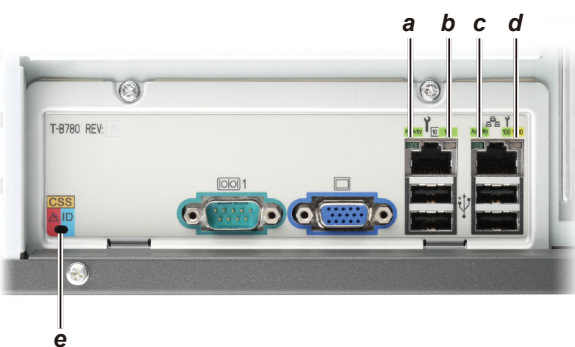
### ● サーバ前面



- a USBコネクタ(×3)  
b システム識別灯／IDボタン  
c 電源表示ランプ／電源ボタン  
d リセットボタン  
e 保守用ボタン  
f ハードディスクアクセス表示ランプ  
g 前面保守ランプ  
h CSSランプ  
i 光ディスクアクセス表示ランプ  
j IDカード  
k ハードディスクアクセス表示ランプ  
l ハードディスク故障ランプ

**i** IDカードには、部品名（型名）とシリアル番号が記入されています。

### ● サーバ背面



- a LANアクセス表示ランプ(Management LAN)  
b LAN転送速度表示ランプ(Management LAN)  
c LANアクセス表示ランプ(Shared LAN)  
d LAN転送速度表示ランプ(Shared LAN)  
e 背面保守ランプ／CSSランプ／システム識別灯

## ランプの状態について

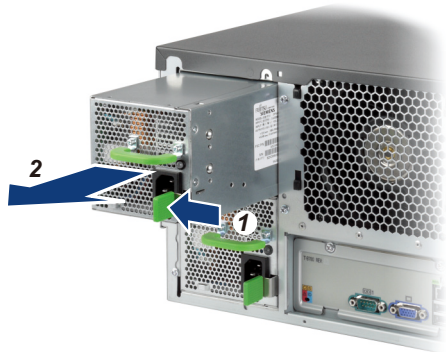
前面	背面	ランプ名称	色	状態	意味
b	e	システム識別灯	青	消灯 点灯	システム識別中ではありません。 システム識別中です。IDボタンが押されたか、「ServerView」上で「システム識別灯表示」がクリックされました。
c		電源表示ランプ	緑	点灯	サーバの電源が入っています。
f		ハードディスクアクセス表示ランプ	緑	点滅	サーバは待機モード中です（主電源電圧は存在します）。
g	e	保守ランプ	オレンジ	消灯 点灯 点滅	内蔵ハードディスクユニットにアクセスしています。 異常はありません。 故障の予兆を検出しました。 故障を検出しました。
h	e	CSSランプ	黄	消灯 点灯 点滅	異常はありません。 CSS部品の故障の予兆を検出しました。 CSS部品の故障を検出しました。
j		光ディスクアクセス表示ランプ	緑	点灯	光ディスクにアクセスしています。
k		ハードディスクアクセス表示ランプ	緑	点灯 消灯	ハードディスクにアクセスしています。 ハードディスクにアクセスしていません。
l		ハードディスク故障ランプ	オレンジ	消灯 点灯 点滅	異常はありません。 内蔵ハードディスクユニットが故障している、または正しく取り付けられていません。 データのリストア中、または内蔵ハードディスクユニットを識別中です。
a		LANアクセス表示ランプ (Management LAN)	緑	点灯 消灯 点滅	リンクを確立中です。 リンクが確立されていません。 転送中です。
b		LAN転送速度表示ランプ (Management LAN)	緑	点灯 消灯	100Mbpsでコネクションを確立中です。 10Mbpsでコネクションを確立中です。
c		LANアクセス表示ランプ (Shared LAN)	緑	点灯 消灯 点滅	リンクを確立中です。 リンクが確立されていません。 転送中です。
d		LAN転送速度表示ランプ (Shared LAN)	黄 緑	点灯 点灯 消灯	1000Mbpsでコネクションを確立中です。 100Mbpsでコネクションを確立中です。 10Mbpsでコネクションを確立中です。

詳しい内容、およびエラーの対処方法については、「ServerView Suite DVD 2」に収録されている「オペレーティングマニュアル」をご覧ください。

## ホットプラグ電源ユニットの取り外し

緑色のレバーを矢印の方向へ押し上げながら(1)、ハンドルを持ってゆっくりと引き出します(2)。

取り付ける場合は、上記とは逆の手順で行います。



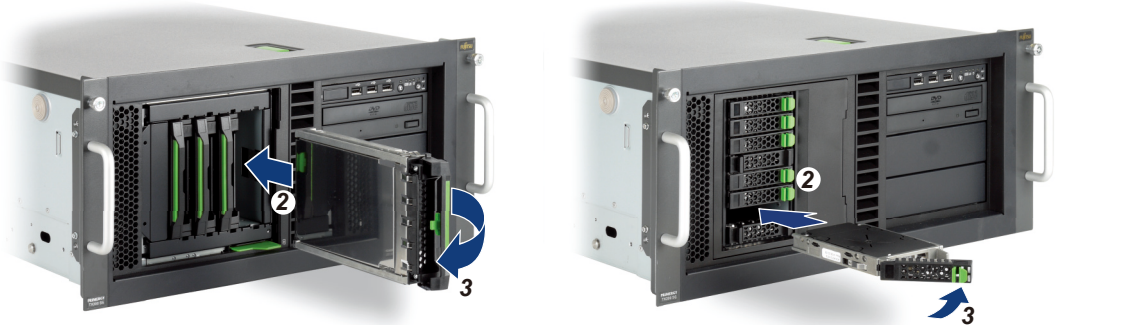
## 内蔵ハードディスクユニットの取り付け

**i** 内蔵ハードディスクユニットは、標準構成時において、3.5インチタイプの場合は最大4台、2.5インチタイプの場合は最大8台まで取り付けることができます。

- 内蔵ハードディスクユニットのロックを解除します。  
緑色のタブを押しながら(1)、ハンドルを矢印方向に開きます(2)。

■ 3.5インチタイプ

■ 2.5インチタイプ



- 内蔵ハードディスクユニットを、突き当たるまでゆっくりと差し込みます。
- ハンドルを矢印方向に戻して固定します。

## OSを開封する／新規にインストールする

Windows Server 2008/2008 R2を開封する場合は、記載の手順に従ってください。

Windows、またはLinuxを新規にインストールする場合は、ServerView Installation Manager(SVIM)を使用します。詳しくは、「ServerView Suite ServerView Installation Manager」をご覧ください。なお、Linuxの場合は、SVIMを使用する前にインストールDVDを作成するなど、準備が必要です。

VMwareを新規にインストールする場合は、SVIMは使用しません。詳しくは、VMwareの『ソフトウェア説明書』をご覧ください。

ServerView Suiteの最新情報は、「PRIMERGY ServerView Suite DVD」ページ(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/products/note/svsdvd/>)にて提供しております。必ずご覧ください。

### □ Windows Server 2008/2008 R2の開封

- サーバの電源を入れます。  
そのまましばらくお待ちください。  
Windows のセットアップが起動し、「ライセンス条項をお読みになってください」画面が表示されます。
- ライセンス条項に同意し、開封処理を開始します。
  - Windows Server 2008 の場合  
1. ライセンス条項をよく読んだうえで、「ライセンス条項に同意します」を選択して、「次へ」をクリックします。  
「コンピュータ名を入力してください」画面が表示されます。
  - 2. コンピュータ名を入力し、「開始」をクリックします。
  - Windows Server 2008 R2 の場合  
ライセンス条項をよく読んだうえで、「ライセンス条項に同意します」を選択して、「開始」をクリックします。
- 「ユーザーは最初にログオンする前にパスワードを変更しなければなりません。」と表示されたら、「OK」をクリックします。
- 「新しいパスワード」と「パスワードの確認入力」に設定するパスワードを入力し、「→」をクリックします。  
パスワードは変更されました。」と表示されます。
- 「OK」をクリックします。  
「必ず実行してください！」画面が表示されます。
- 内容を確認後、「OK」をクリックします。  
PowerUp Gearが起動します。

**i** 本操作はサーバを安定運用するうえで重要な作業です。必ず実施してください。  
PowerUp Gearは、高信頼ツールを一括してインストールするツールです。運用上必須のツールはグレー表示されており、選択は解除できません。

- インストール対象のツールを確認し、「実行」をクリックします。  
各ツールのインストールが開始されます。メッセージに従って操作を行ってください。

**i** 各ツールのインストール終了時に、システムを再起動するようメッセージが表示されることがありますが、絶対に再起動しないでください。再起動を行うと、PowerUp Gearでの一括インストールが中断されてしまいます。

- インストールの完了メッセージが表示されたら、「終了」をクリックします。  
「開封作業完了」画面が表示されます。
- 「OK」をクリックします。
- システムを再起動します。  
「スタート」ボタン→「⇒」の順にクリックし、「再起動」を選択して「OK」をクリックします。
- 手順4で設定したパスワードを入力してログオンします。  
「初期構成タスク」画面が表示されます。
- 必要に応じて、初期構成タスクの各項目を設定します。

### □ Windowsの新規インストール

SVIMでインストールを行います。

### □ Linuxの新規インストール

- インストール DVD を作成します。  
インストール DVD は、RHN (Red Hat Network) からダウンロードして作成します。
  - i** RHNへの登録については、「Red Hat Network、サブスクリプションの登録方法」(<http://www.redhat.co.jp/FAQ/regist.html>)をご覧ください。
- RHN にログインします。
- ISO イメージの公開サイトページを開きます。  
インストールするディストリビューションを選択してください。
- Binary Disc の ISO イメージをダウンロードします。  
RHN の画面に、MD5 チェックサムが表示されています。ダウンロードした ISO イメージのチェックサムが正しいか確認してください。
- ISO イメージから、インストール DVD を作成します。
- 富士通 Linux サポートパッケージ (FJ-LSP) を準備します。  
FJ-LSP は、サポート契約されたお客様のみ対象となります。FJ-LSP は、富士通の SupportDesk 契約者様向けサイト (SupportDesk Web : <http://eservice.fujitsu.com/supportdesk/>) からダウンロードしてください。
- SVIM でインストールを行います。  
SVIM のアプリケーションウィザードで FJ-LSP を適用してください。

### □ VMwareの新規インストール

インストールメディアは、ワイエムウェア株式会社のサイト (<http://www.vmware.com/jp/>) よりダウンロードしてください。

**i** ダウンロードを行うためには、ライセンス取得が必要となります。詳しくは、「お客様登録とライセンス取得のご案内」※ をご覧ください。  
また、製品をご使用になる前にSupportDesk への登録をお願いします。  
※ VMware/バンドルタイプをご購入のお客様は、同梱されています。それ以外のお客様は、ソフトウェア製品をご購入いただく必要があります。

VMwareのインストール方法、および使用時に留意すべき事項については、VMwareの『ソフトウェア説明書』(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/vmware/>) をご覧ください。